「社長」や「役員」になりすました詐欺メールにご注意ください！

法人の社長や役員などになりすまし、メールやメッセージアプリなどを使い、ＳＮＳグループの作成を求めた上で、金銭の振り込みや情報提供を要求する詐欺の手口です。

■詐欺メールによく使われる手口■

- 経営者や上司になりすまし、「急ぎで対応してほしい」と振り込みや情報提供を求める（財務・経理担当者といった金銭管理を行う部門が狙われる傾向がある）
- 本物に似たメールアドレスを悪用して正規の連絡に見せかける
- ＬＩＮＥグループの作成など、外部サービスへの誘導を行う

◎「至急」「会社に戻ったら説明する」は詐欺メールでよく使われる言い回しです。
◎会社では通常使用しない外部ＳＮＳへの誘導は要注意です

だまされないためのポイント！

- 差出人のメールアドレスや連絡先を必ず確認する
- 内容に不自然な点があれば、内部で共有・相談し、正当な相手（自社の社長等）に直接確認する
- 個人情報を送らない

HP 北海道警察